



2019 to 2020

地域連携システム研究  
江川 良裕

Looking  
Back on  
2019

看護管理教育

# ロジカル・シンキング入門

本選考のOBの佐久間氏（東京都済生会向島病院看護部長）と共同で、看護管理者向けの月刊誌『ナースマネージャー』に、ロジカル・シンキングの代表的ツールであるロジック・ツリーの活用に関する記事を執筆

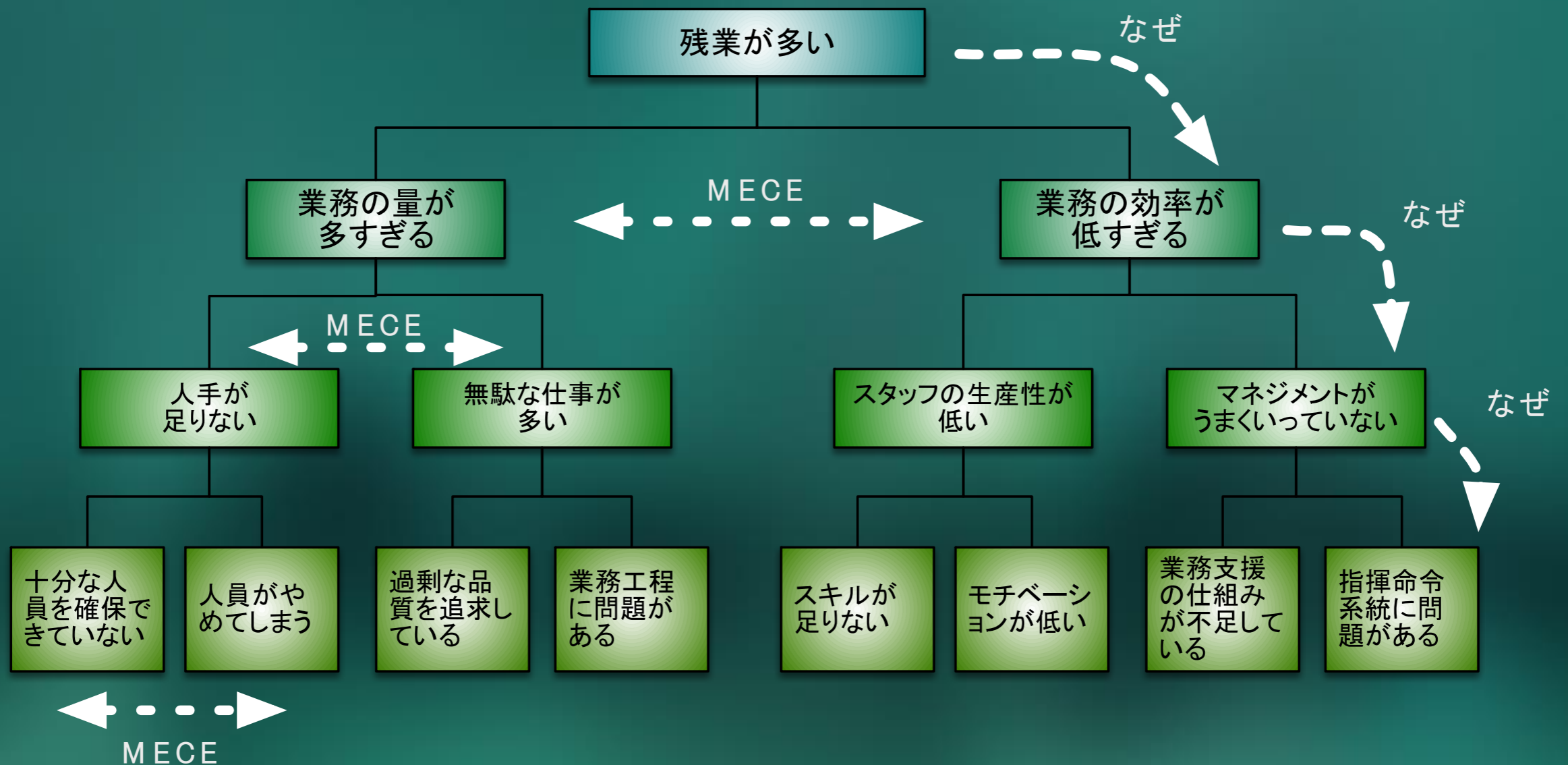


## 看護管理のためのロジカル・シンキング

# 因果関係とMECE

ロジック・ツリーとは、思考の内容やプロセスをツリー状に表した構造（図）で、問題の原因分析や解決策の検討、さらには説得やプレゼンテーションのストーリー作成などに活用。

記事で取りあげたWhyツリーでは、縦（階層レベル間）のつながりにおいて原因と結果という関係（因果関係）、そして横（並列項目内）では全体として漏れがなく項目間で重複がない構造（MECE）が成立。



## ロジック・ツリーの 看護管理への応用

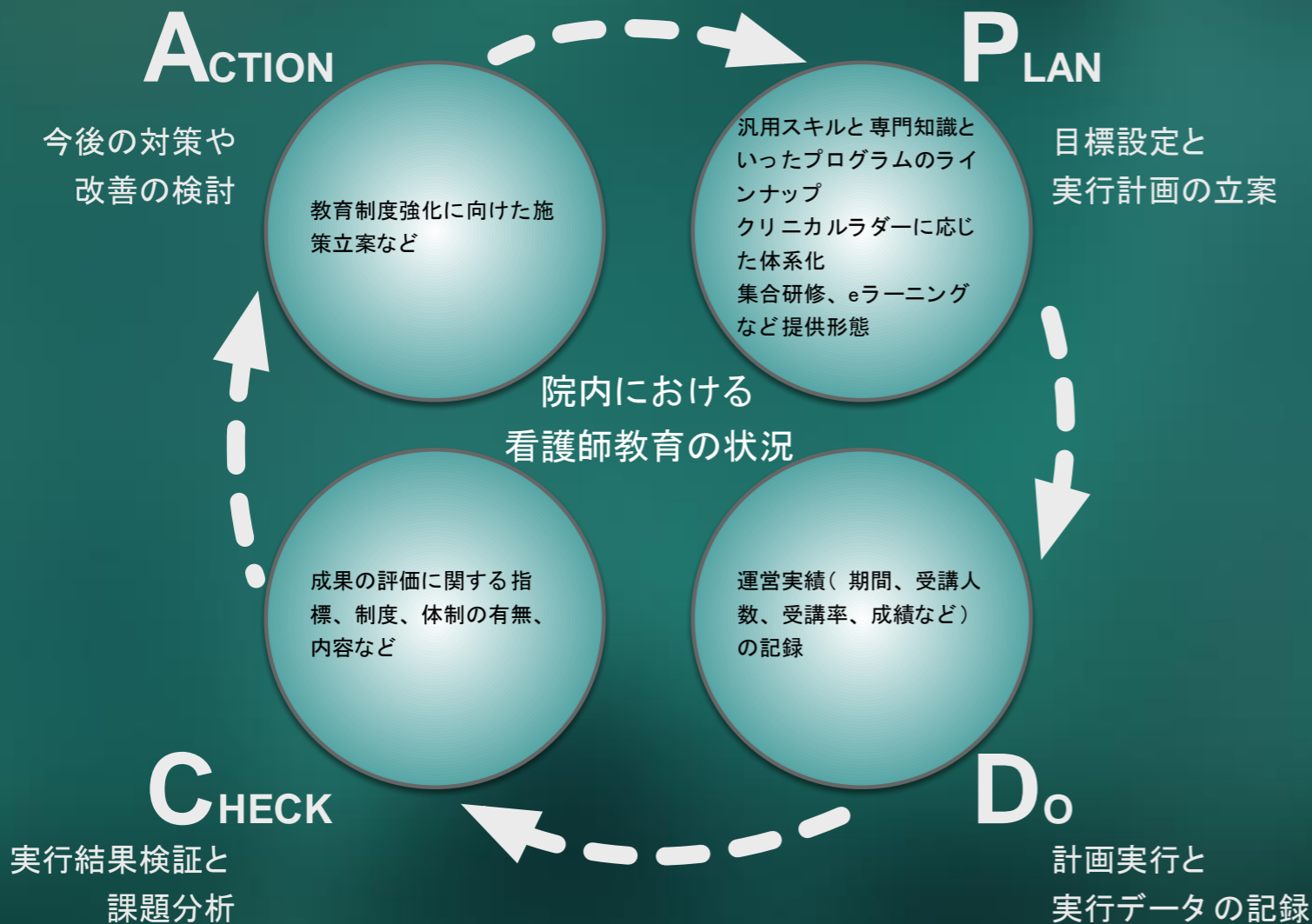
因果関係とMECEを考えていくうえでの注意点の解説に加え、経営分野において利用されている各種フレームワークを看護管理に適用。

### 因果関係とMECEにおける注意点

- 因果関係を考えるうえでの代表的なミスは、単なる言い換え、論理の飛躍、相関関係との混乱など。
- MECEな構造にするうえでのミスとしては、特定の項目を無視してしまうこと、レベル（粒度）の異なる項目を混在させること、短絡的に分解してしまうことなど。

### フレームワークの適用

- フレームワーク（Framework）とは、認知や思考においては全体の体系や枠組みという意味。MECEな視点をその時々で考えなくても、MECEとなる切り口となる既知のフレームワークを活用可能。
- 組織構造の7S（戦略・組織・システム・価値観・スキル・人材・スタイル）、業務改善の視点であるECSR（排除・結合と分離・入替えと代替・簡素化）、組織内での知識創造のSECI（共同化・表出化・連結化・内面化）。



Looking  
Forward  
to  
2020

# 特許庁『全国地域ブランド総選挙』 地域ブランドを支援する学生の指導

「全国地域ブランド総選挙」は、地元の大学生と地域ブランド（地域団体商標）の団体がチームを組み、ブランド・コンセプトの再構築やビジネス・プラン等を検討し、SNSなどを通じて情報発信していくイベントで、教員はインストラクター、コンサルタント的な役割で参画。

17年および18年に九州地区限定の前身イベントがあり、それぞれ「ベスト・ブランド・ストーリー賞」「ベスト・ビジネス・プラン賞」を受賞したこともあり、17年にチームを組んだ、小国町森林組合と再度タッグを組み、全国版に参加。

Looking  
Forward  
to  
2020

看護管理者向けの学習書籍

# 『ロジカル・シンキング・テキスト』

2019年に『ナースマネジャー』に執筆した記事をきっかけに、日総研出版から依頼されたプロジェクトで、現状検討中。

引き続きOBの佐久間氏との共同執筆をおこない、看護現場での多様な問題に関する課題解決を志向するものになる予定。



**THANK  
YOU**

**But High brick wall**